

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきるちから4		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日		2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種の方が勤務しており、いろんな角度からのアプローチができ、子どもたちの成長に繋げる事ができる。	保育園・病院・学童・他福祉施設・子育て経験等、それぞれが持っている専門知識・経験をもとに意見を言しやすい環境を整えている。	今獲得している経験・知識だけでなく、職員が更に成長していけるように内部・外部研修等に参加し今後の支援に活かしていく。
2	親子で参加していただくイベントや、保護者様向けのイベントを企画し、親子でできる取り組みの提案や保護者様の悩みに寄り添える体制を整えています。	親子で取り組める内容のイベントを行っている。年に2回程保護者様との座談会を企画し、日常の悩みを相談できる機会となるよう取り組んでいる。	参加しやすい日程の設定や内容を検討していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の環境(広さや防音設備)が十分でなく、活動に一定の制限ができてしまう。	4階建てビルの3階で隣接施設への騒音等の影響も考えると、事業所内だけで子供たちに発散の場を十分に提供することが難しい。	騒音防止対策を行い、運動療育などにも十分取り組めるよう設定する。
2			
3			